

## ○出雲市水道料金等審議会条例

(平成 17 年出雲市条例第 341 号)

改正 平成 18 年 3 月 17 日条例第 40 号平成 25 年 9 月 30 日条例第 40 号

(設置)

第 1 条 市長の諮問に応じ、出雲市水道料金等について審議するため、地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、出雲市水道料金等審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(定義)

第 2 条 この条例において水道料金等(以下「料金等」という。)とは、出雲市水道事業給水条例(平成 17 年出雲市条例第 313 号)に規定する水道料金、加入金及び手数料をいう。

(諮問)

第 3 条 市長は、料金等に関する条例を議会に提出しようとするときは、あらかじめ審議会の意見を聴くものとする。ただし、消費税法(昭和 63 年法律第 108 号)の規定に基づく消費税の税率及び地方税法(昭和 25 年法律第 226 号)の規定に基づく地方消費税の税率の改正に伴うものは除く。

(委員)

第 4 条 審議会は、委員 15 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

(1) 識見を有する者

(2) 各種団体の代表者

3 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に、会長及び副会長を各 1 人置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会議は、その議決により非公開とすることができる。

(資料提出の要求等)

第 7 条 審議会は、必要があると認めるときは、参考人に意見を求め、又は関係者に対し、資料の提出及び協力を求めることができる。

(委員の報酬及び費用弁償)

第 8 条 委員の報酬及び費用弁償は、特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例(平成 17 年出雲市条例第 36 号)の規定を適用する。

(庶務)

第 9 条 審議会の庶務は、上下水道局水道営業課において処理する。

(委任)

第 10 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成 18 年 3 月 17 日条例第 40 号)抄  
(施行期日)

1 この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 25 年 9 月 30 日条例第 40 号)  
この条例は、公布の日から施行する。